

松戸市で見つかるカエル

澤田 勝生

もうすっかり^{はる}春になり、生き物^{いもの}たちが冬^{ふゆ}越しを終^おえてそこかしこで見られるようになりました。つい先日^{せんじつ}園内^{えんない}でアカガエルが産卵^{さんらん}したと思^{おも}ったら、今^{いま}ではもう市内^{しんない}のヒキガエルが産卵^{さんらん}を終^おえ、じきにオタマジャクシも見られます。これから夏^{なつ}にかけて松戸^{まつど}のカエルたちは次々^{つぎつぎ}と産卵^{さんらん}シーズンに入^{はい}っていきます。カエルを目^めにすることも増^ふえるでしょうし、せっかくですから松戸市^{まつとし}で見られるカエル^みたちを紹^{しょう}介^{かい}していきたいと思^{おも}います。

<アズマヒキガエル>

松戸市^{まつとし}で目^めにすること
の多い^{おお}大きなカエル^{おお}です。
乾燥^{かんそう}に強^{つよ}く水^{みず}から離^{はな}れ
て生活^{せいかつ}します。なので庭^{にわ}
などの人^{ひと}のいるところにも
来^きたりします。だいたい林^{ばやし}



や畑^{はたけ}の辺^{あた}りにいて、昼間^{ひるま}は石^{いし}や木^きの下^{した}でじっとして夜^{よる}にご飯^{はん}を探^{さが}します。松戸^{まつど}では春先^{はるさき}にオスガメス^{とあ}を取り合^あって大げんか^{おお}する「蛙合戦^{かわずかっせん}」が見^みられます。蛙合戦^{かわずかっせん}は合戦^{かっせん}というくらいですからとても激^{はげ}しく、死ぬ^しカエルもよくいます。通^{とお}りがかったウシガエル^{まこ}が巻^まき込ま^こまれて死^しんだりするくらいには激^{はげ}しいです。

<ニホンアマガエル>



こちらめもよく目こにする小
ぶりかんそうなカエルです。乾燥に
つよきく木かべや壁のぼを上のぼれるので
庭にわなどでも見みられ人目ひとめに
つくことおおが多いたです。田ん

ぼちか近くのサトイモの葉はっぱみでよく見みかけます。植物しょくぶつの上うえにいる
のが好すきなカエルなので野菜やさいにつく虫むしを食たべてくれることおおも多
いはるです。春はるの終おわりから夏なつの初はじめあた辺さんらんりで産卵さんらんして一ひとつき月きくらい
でカエルからだになります。体いろの色かをとくい変かえるのが得意まわなカエルで、周
りの色にに似てきせることかくで敵みどりから隠はいいろれます。緑こと灰色この子こをよく
見みますが、たまいちぶに部いろの色もを持うたずあおいろに生あおいろまれて青あおいろ色きいろや黄きいろ色きいろに
しかなこれない子こもこいます。

<トウキョウダルマガエル>

トノサマガエルと先祖
が同じなので見た目が
よく似ている中くらい
のカエルです。足が短く
て後ろ足が耳まで届か
ない方がダルマガエルで



す。ため池が周りにある田んぼ近くで見られます。乾燥に弱いので水から離れることができず、探しに行かなければ見ることはあまりありません。緑と茶色に黒いブチといった柄をしていますが、写真のように緑は少なく茶色い体をした子が多いです。今の田んぼは昔と違って、乾田といって冬に水がありません。乾燥に弱いダルマガエルは田んぼで冬を越せません。おまけに田んぼ周りの用水路がコンクリで覆われていると、落ちたら上がれずおぼれて死んでしまいます。そのため田んぼに生活を頼っていたダルマガエルは数が減ってしまいました。ウシガエルがいると食べられていなくなってしまうので園内では見られませんが、松戸のため池や田んぼで夏先辺りに産卵をしているのが見られます。

<ヌマガエル>

なまえ とお みず べ
名前の通り水辺に
いる 小ぶりなカエル
で、ダルマガエルと同
じく 田んぼの周りに
います。元は西日本に



しかいないカエルですが、30年くらい前から関東に移ってきて
しまいました。寒さには弱いですが暑さに強く、お風呂のお湯
くらい熱くなった田んぼの水の中でもオタマジャクシが生きて
いたりするほど強いです。他の田んぼにいるカエルと同じく春
から夏の頭にかけて産卵します。卵は米粒より小さい上に
バラバラに散らばるのでごく見つけるのが難しいです。昔は
ツチガエルという見た目のそっくりなカエルが松戸にもいました
が今ではいなくなっていました。ウシガエルがいると食べられ
ていなくなってしまうので、園内では見られません。

<ウシガエル>

にほんさいだい えんない せん
日本最大のカエルで、園内では千
だぼりいけ かれ うし な
駄堀池で彼らの牛のような鳴き
ごえ き きます。ひと と こ
声をよく聞きます。人を飛び越え
るほどジャンプできて およ みず
潜るのも上手いです。口も大きく、



うご たい
動くものならネズミもトカゲも鳥でも何でも食べようとする大
しょくかん みずべ この みずくさ しげ かく せいかつ た
食漢で、水辺を好み水草や茂みに隠れて生活します。田ん
ぼにいるようなカエルは せいかつ ばしょ かさ
生活する場所が重なるのでよくウシガエ
ルに たい えんない せいかつ ば
食べられます。園内にいるアカガエルやヒキガエルは生活場
しょ かせ あくえいきょう ちい せいかつ ば
所が重ならないので悪影響は小さいですが、それでも生活場
しょ ちか た
所が近いので食べられているアカガエルがいることでしょう。

ウシガエルは特定外来生物に指定されており、生きたまま運んだり
飼ったりすると法律で罰せられ、逃がしたことで駆除が必要な際は逃
がした人が費用を一部ないし全額負担することになります。捕まえた
方は持ち帰らない・よそに逃がさないよう注意してください。

<ニホンアカガエル>

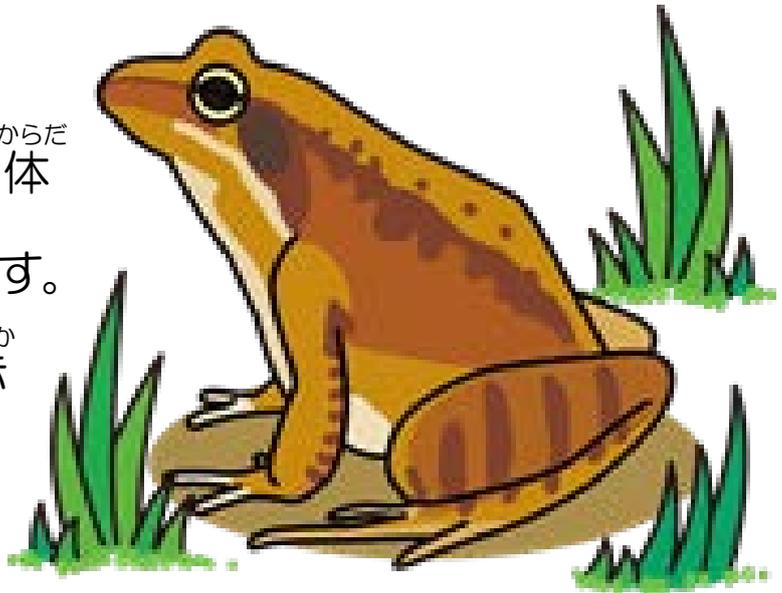
なまえ とお あかちゃいろ からだ
名前の通り赤茶色の体

ちゅう
をした中くらいのカエルです。

あざ あか
モミジのような鮮やかな赤

いろ
色をしていることありま

す。ふだんは雑木林の地



めん うえ まわ くさ せいかつ なかま
面のうやその周りの草むらで生活します。アカガエルの仲間

ふゆ さんらん おお とくちょう てんてき
は冬に産卵するのが大きな特徴です。これは天敵のヘビなん

かが とうみん あんぜん たまご う
かが冬眠しているので安全に卵が産めるからです。ニホンアカ

やま す ちが へいち た まわ
ガエルは山に住むヤマアカガエルと違って平地の田んぼの周

り ぞうきばやし さいきん ぞうきばやし た
りの雑木林にいるカエルです。最近雑木林が田んぼのそばに

さとやま かんきょう へ ふゆ みず は た
ある里山の環境が減り、おまけに冬に水を張っている田ん

ぜんぜん うえ た じたい へ かず へ
ぼも全然ない上に田んぼ自体が減っているので数をととても減

らしています。

ちばけん さいじゅうようほ ごせいぶつ なに ほご ちか ぜつめつ
千葉県の最重要保護生物(何も保護しなかったら近く絶滅す

る)に指定されており、21世紀の森と広場で大切に保護して

いるカエルです。

も かえ ねが
くれぐれも持ち帰ることのないようお願いいたします。

カエルを持ち帰らないで

園内でアカガエルを捕まえて持ち帰る方が時々いらっしゃいます。

21世紀の森と広場はそもそも動植物の持ち出し・持ち帰りが禁止されているのはもちろんですが、私が言いたいのはそれだけではありません。

ニホンアカガエルは飼育が難しいカエルです。アカガエルを飼う場合は雑木林の地面に近い環境を用意する必要がありますが、それがどのような環境か想像し用意できますか。環境が合わなければ弱って死にますし、連れてきたばかりの頃は大きなストレスがかかり、人におびえて餌も食べてくれません。カエル自体が、生き物の飼育に慣れた人でないと難しい生き物なのです。カエルは生きた虫を食べますが、冬になると外で虫は捕まえられませんし、冬眠も慣れた人でも死なせることのある難しいものです。カエルを飼うには餌の虫も飼う必要がありますが、同じ虫ばかりだと栄養の偏りで病気になります。またいつも飼育容器をキレイに掃除しないとこれも病気になります。そして寿命の来る10年近く世話を続けなければいけません。アカガエルの命のためにもどうか園内のカエルを持ち帰らないで下さい。

作成：2021年3月 21世紀の森と広場 パークセンター